

1三菱重工取締役社長 泉澤清次様

コロナ禍、また残暑お見舞い申し上げます。本来なら初秋と切り出すところですが、今年は、誰もが予想しなかった事態が進行しています。

コロナについては、スペイン風邪以来 100 年目の災厄と言われています。今から 100 年前の人類最悪（戦争を除く）の災厄について、日本の教科書には小中学校の教科書は言うに及ばず、高校の世界史・日本史の教科書に一切書かれてきませんでした。コロナ禍になって新聞などに記述されるようになってはじめて、知られるところとなりました。私もその例に漏れない 1 人です。歴史の教師として慚愧の思いです。

今夏の猛暑！正確に言えば 20 世紀末からの猛暑が気候温暖化によるものであることは、誰しも否定できない事実です。また、その原因もはっきりしてきているにもかかわらず、そこにメスを入れることから逃げまくる先進国政府と大企業。このままいけば、コロナ禍以上の大災厄という仕打ちを人類は受けること必至でしょう。

原発被害は、3.11 から 10 年も経過していないのに既に忘却の彼方に追いやられようとしています。

気候変動についてメスを入れることを避け、原発についても経済・企業優先により歴史の後景に追いやられているなかで、日本の侵略戦争と植民地支配による加害事実に向き合い、謝罪・賠償・次世代への継承という過去清算・歴史課題は「況んやをや」なのでしょうか。

しかし、私たちは、過去清算に背を向けることと、気候変動化・原発の推進勢力でありコロナ禍でこそ「コンプライアンス」を発揮すべきなのに無策の日本の大企業の姿勢をみると、それらは同根であることに気づきます。

御社が社是の理念を活かし、先人を切って上記の事態を克服する一手を打ち出されんことを希望するものです。

一強といわれた安倍晋三首相は、執念をかけた二つの野望、首相在任期間にオリンピック・パラリンピックと憲法「改正」を実現できず、前代未聞の暴政・悪政によるつけを国民に残し、政権を「放り投げました」。最後の最後まで無責任でした。巷ではめったに口にしない“ざまあ見ろ”という言葉が、飛び交っています。

菅官房長官が、安倍政治を継承すると言っています。「戯れ言」も休み休み言ってほしいものです。

長々と残暑の挨拶を書きました。末筆になりましたが、私たちの下記の要請事項についてお受け止めいただきますよう要請します。

2020 年 9 月 4 日（フライデーレポート）

名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会
共同代表 4 人の一人 高橋信

【要請事項】

1、韓国大法院判決が民事裁判についての韓国最高・最終審判決であることに鑑みて、被告としていかなる勢力からの干渉に屈することなく御社の社是を鏡に自主的解決に踏み出されよう要請します。